

題材名：

「土産物パッケージ・Re デザイン
～産業の「美」～」

(全 12 時間扱い中 第 9 時)

授業日時 令和 3 年 11 月 11 日 (木) 第 3 校時

授業学級 3 年 E 組

授業会場 美術室

授 業 者

指 導 者

(1) ねらい

自らの Re デザインの意図を基に、着彩の構想を練ることができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：構想しているパッケージの配色をどのようにすればよいのか考える。
- ・活動：色彩や配色の効果やイメージに着目して配色を構想する。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 前時の振り返りをする。	○「パッケージをどのように着彩していこうと考えていますか。」 ◇どのような配色にすればよいのだろうかという生徒の疑問から、学習問題を設定する。	5
	【学習問題】 構想しているパッケージの配色をどのようにすればよいのだろう。		
	2. 配色の違うデザインを比較してみて、どのような配色だと、どこから、どのような感じがするのかを考える。	★彩度や明度の差をつけた配色の図 ○「配色の特徴からどのようなことを考えましたか。」 ◇色彩や配色の特徴や、それらが与える効果やイメージには違いがあることを全体で共有し、学習課題を据える。	10
	【学習課題】 色彩や配色の効果やイメージに着目して配色を構想しよう。		
展開	3. クロームブックの描画キャンバスを使って自らの Re デザインの意図が伝わるような配色を考え、友と共有する。	○「自らの構想を基に、全体の大まかな配色を考えましょう。」 ◇描画キャンバスのレイヤ機能を使って背景や文字などの色を変えた配色のパターンを作成し、見比べる。 ○「どのような配色にしたら表したいことが表現できましたか。」 ◇本時に考えたことをキャンバス内に整理してまとめる。 ◇友と意見交換をし、配色の意図を共有する。 【評価】 自らの Re デザインの意図を基に、着彩の構想を練っている。(ワークシート、作品)	25
終末	4. 本時の振り返りをする。	○「授業を振り返り、パッケージをどのような配色で着彩していこうと考えましたか。」	10